

大阪市立十三市民病院を受診された患者の皆さま

大阪市立十三市民病院 糖尿病内分泌内科

当院は下記の研究を実施しています。この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名：

認知機能および性格特性等の非認知機能が糖尿病治療に及ぼす影響

1. 研究の対象

2023年1月1日から2025年12月31日までに大阪市立十三市民病院にて通院・入院加療を行った糖尿病患者。

2. 研究目的・方法

糖尿病の治療には、食事、運動および薬物療法がある。いずれもセルフケアが必要である。認知機能や性格特性も糖尿病のセルフケアに影響を与える可能性がある。糖尿病のセルフケアとは、食事や運動、薬物療法など、自分で糖尿病の管理を行うことである。セルフケアを行うには、自分の状態を正しく理解し、目標を設定し、計画を立て、実行し、評価するという一連のプロセスが必要となる。このプロセスには、認知機能や性格特性が大きく関わってくると考えられる。今回実臨床の中で、認知機能および性格特性等の非認知機能が、糖尿病の治療に与える影響を明らかにするために本研究をおこなう。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

調査項目は、患者背景（年齢、性別、BMI、基礎疾患など）、認知機能検査、性格特性の検査、症状、血液検査、治療内容、転帰などです。診療情報は、特定の個人を識別できないように匿名化を行います。

4. 本研究に関する問い合わせ先

研究実施者 日浦義和

地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立十三市民病院 糖尿病内分泌内科

〒532-0034 大阪市淀川区野中北2丁目12-27

電話 06-6150-8000（代表）